

キセラ川西せせらぎ公園 移植イベントを行いました



1月22日(日)に行った、シンボルツリー「エドヒガン」の植え付けイベント。350名以上の方に参加いただき、15mを超える大木を無事に植え付けを行うことができました。写真は植え付け後の記念集合写真。

移植プロジェクトは、利用者の意見を取り入れながら公園を整備する目的で、平成25年に開催した市民ワークショップにおいて「市域北部の日本一の里山である、黒川地区を再現できないか？」という市民の想いからはじまりました。その実現に向け、キセラ川西まちづくり大使である、そら植物園代表・プラントハンターの西島清順氏に相談したところ「黒川地区から里山を象徴するエドヒガンと台場クヌギを移植する」というアイデアをいただき、プロジェクトがスタートしました。

移植にあたっては、黒川地区の皆さま、菊炭友の会、溪のサクラを守る会などの多大なご協力のもと2年間の準備期間を経て実行されました。日本一の里山から樹木を移植するという、他に例を見ないプロジェクトで、南北に長い川西市の地勢や文化を改めて知るきっかけになり、市北部と南部の交流のかけ橋になることを期待して行われました。



1月13日(金)に行った、台場クヌギ掘り取り見学会。キセラ川西の近隣保育所の児童約30名が見守る中、トラックへ積み込みました。

1月13日、22日、24日 3日間の移植イベントの様子

今回の移植イベントは、川西市(市長 大塩民生)と川西緑化協会(理事長 菅原康雄)の共催でキセラ川西せせらぎ公園における移植プロジェクトの取組みを、市民の皆さまに広く知っていただくとともに、作業を実際に体験いただくことで、この公園をより身近に感じてもらうことを目的として行われました。この移植イベントは、1月13日に黒川地区での台場クヌギの掘り取り見学会を、22日にエドヒガン植え付け作業を、そして24日の台場クヌギ植え付け見学会という3部構成で開催し、延べ553人の方に参加いただきました。



- ①
- ②
- ③
- ④

①13日の台場クヌギ掘り取り見学会前半で、黒川自治会長、西島清順さん、キセラ川西整備部長に、これまでの移植プロジェクトの取組みについて話していただきました。②13日の後半で、2.5トンを超える台場クヌギを掘り取る様子を見学いただきました。③22日には、愛されるシンボルツリーになることを願いながら、参加者みなさんと紅白のロープを引き、エドヒガンを植え付けました。④24日には、公園北部の里庭エリアに台場クヌギ7本を植え付ける作業を見学いただきました。

第7回 キセラ川西エコまち協議会交通部会を開催しました!!

平成29年2月3日(金)「第7回交通部会」を市役所において開催しました。

交通部会は、公共交通の利用促進を最終目的として、これまで能勢口周辺を含む回遊性の向上と、キセラ川西の地区内に出来る駐車場の共同利用について検討する方向で進んでいます。とりわけ、能勢口周辺を含む回遊性の向上については、レンタサイクルによる社会実験を行うこととして進んできましたが、社会実験を行う予算が取り止めになり、実施出来なくなったことから、今年度の交通部会においては、取り組みの見直しを行っているところです。

春を待つロゼット

植物体の形態を表すことばに「ロゼット」というものがあります。よく知っているのはオオバコやタンポポなどです。葉が放射状(円形)に地面から直接出ているようすです。茎がほとんど無いように見えるので、その葉を根出葉(こんしゅつよう)、根生葉(こんせいよう)、根葉(こんよう)、ロゼット葉などと言います。



名前からわかるように、もともとは八重咲きの薔薇(バラ)の花の形を連想させることばから来ています。「rosette」と書きます。

オオバコやタンポポなどは、一生ロゼットの形をしています。このような植物はそれほど多くの種類を見かけません。なぜなら他の大型の植物との日光競争に負けてしまうからです。従って生育場所は荒地など他の植物が育ちにくい場所に限定されます。

冬の野原では、大型植物は枯れてしまいます。しかし、よく観察すると多くの種類のロゼット型植物が目につきます。それらは、多年草や越年草(越冬1年草:年を越すので、2年生植物ともいわれます。)の冬越しの姿です。

よく見られるものは、アブラナ科やキク科、たとえば、ナズナ、ヒメジヨオン、ハルジオン、ハハコグサ、ノゲシ、ヨモギなどのなかまです。畑に残されているダイコンやハクサイ、キャベツも巨大なロゼットです。そのほかスイバやマツヨイグサのなかまも見られます。



寒い冬をじっと我慢して堪え忍んでいるように見えます。しかし、ロゼットは寒い風でも霜でも雪でも枯れないでとても元気です。それは日光がよくあたる屋間の地面や地中は意外と暖かいからです。日光競争の競争がないので茎を伸ばす必要はなく栄養分の消費が少ないので、エネルギーをため込むことが出来ます。そして「臺(とう)が立つ」と言いますが、春になれば素早く背を伸ばして他の植物との競争に勝ちます。一時的にロゼット型になるという技巧的な植物といえます。

区画道路の使用開始について(ご案内)

区画整理事業区域におきまして、2月16日(木)午前9時より右記案内図のとおり区画道路を使用開始することになりました。それに伴い、仮設道路を廃止します。ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

【発注者】

川西市 キセラ川西整備部
キセラ川西推進室 地区整備課
電話 (072) 740-1207

【施工業者】

株式会社池下組
電話 (072) 757-0818



お知らせ

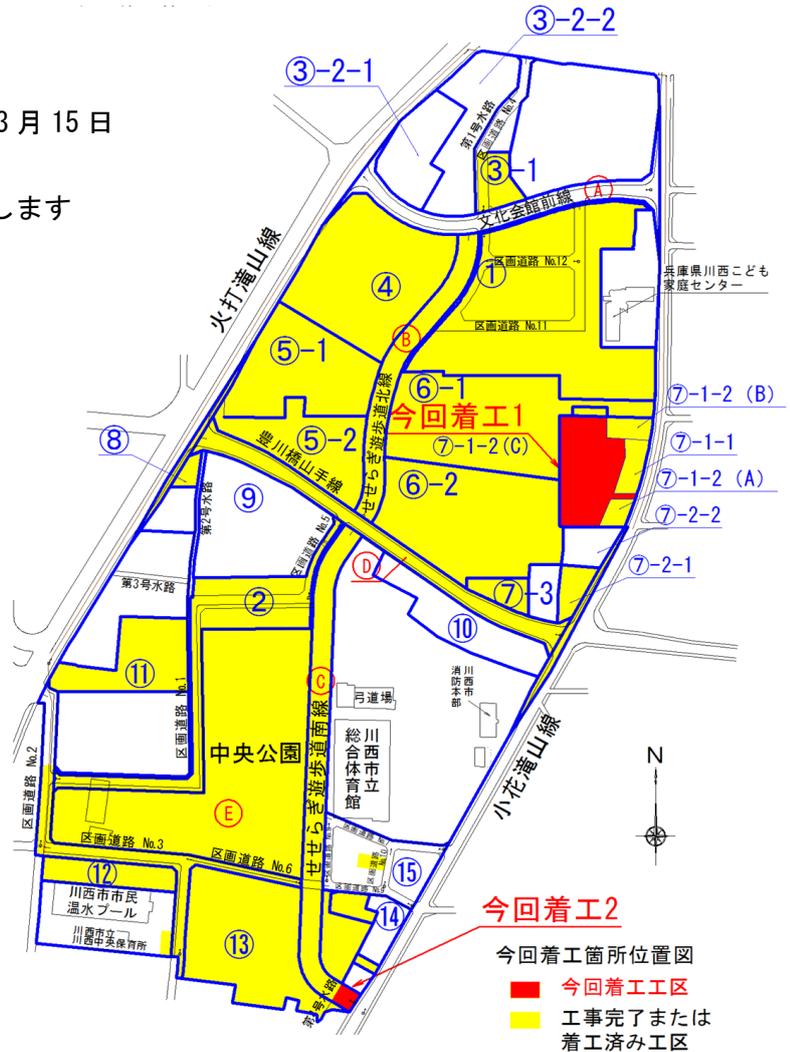
◆工事のお知らせ

1. 第7-1-2(C)工区 工事概要

- (1) 工事期間：平成29年2月1日から平成29年3月15日
(作業時間：AM9:00~PM5:00)
※日曜、祝日は原則として休工とします
- (2) 工事概要：整地工事 約3,800㎡
- (3) 施工業者：株式会社 北摂道路
- (4) 現場責任者：田中亮次 (072-755-3354)
- (5) 担当：地区整備課 下西・清水
- (6) 電話：072-740-1207

2. せせらぎ遊歩道タイル改修 工事概要

- (1) 工事期間：平成29年2月23日から
平成29年3月16日
(作業時間：AM9:00~PM5:00、
前後30分で準備と片づけ作業を行います)
※日曜、祝日は原則として
休工とします
- (2) 工事概要：遊歩道部のタイル改修工事
- (3) 施工業者：株式会社 奥村組
- (4) 現場責任者：浜松慎一 (072-758-6820)
- (5) 担当：地区整備課 池永
- (6) 電話：072-740-1207



◆町名変更検討部会の動きについて

現在、事業区域内の集客施設の場所を除く部分について、町名を変更する方向で取りまとめを進めておりますが、これがまとまれば、市に対する要望書案の作成に取り組む予定です。

建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第76条許可申請・地区計画の届出が必要です。また、「中央北まちづくり指針」や「低炭素まちづくり計画」等に基づいた建築計画であるかを確認するため、事前に「建築行為等の手続条例」に基づく協議が必要です。
(詳しくは、地区整備課 072-740-1207 へ)

権利者が死亡され名義変更されていない方や、権利の移動があった場合、住所氏名の変更があった場合はご連絡を。

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 キセラ川西整備部 キセラ川西推進室 地区推進課

TEL：072-740-1203 FAX：072-740-1330

日時：午前9時~午後5時半 (ただし、土曜・日曜・祝日は除きます)

HP：<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuoukitaseibi/index.html>